

## ゼミナール決定参考資料

教員名： 小林 悠太 指導教科： 行政学、政策システム論

## ① 研究・関心領域内容

- ・大学院生時代は、内閣府の研究をしていました。行政組織や、府省を超えた政策調整が、関心の出発です。
- ・広大着任以降は、共同研究に時間を割いています。自治体 DX, 財政、公務員人事の研究を手掛けています。
- ・目下大切なお仕事は、共著の教科書(『パブリック・マネジメント入門』)を執筆することです。
- ・そのほか研究とは別ですが、呉市や福山市で審議会の委員を務めています。

## ② 自己紹介&lt;こんな学生を募集しています&gt;

福山市出身です。西日本で色々過ごした後に助教時代(東広島)を経て2年間神奈川で働き、2024年に再着任しました。学部生時代の自分を振り返ると、その頃の勉強で一番楽しかったのはゼミでの討論(と終わった後の友人たちとの食事)だったなあと記憶しているので、議論が好きな学生さんだと嬉しいです。

③ 現在の人数： 三年生 3人 四年生 3人

## ④ ゼミのテーマ、方針、学習・研究内容

「演習1」は、文献読解を通じて基礎能力を高めます。2025年度は、バーダック『政策立案の技法』(アメリカの公共政策大学院教科書の翻訳)と、曾我謙悟『21世紀の日本政治』の二冊を輪読しました。「演習2」の内容は、7月ごろに話し合って決めますが、2026年度の前半も同様に、輪読をメインにする予定です。

## ⑤ 授業形態(発表、討論、講義など)

まず「演習1」「演習3」は、課題文献の輪読と討論を中心に行います。また「演習2」「演習4」では、他大学や他地域等の訪問を一度は取り入れる予定です。

2025年10月は、高知県立大学(高知市)の吐合大祐先生のところにお邪魔しまして、防災行政と地方自治を勉強します。

## ⑥ 現在のゼミの様子、雰囲気

学生は楽しく真面目に議論に参加し、難易度の高いテキストを丁寧に読解してくれます。和気藹々としていて、良い雰囲気です。

## ⑦ ゼミ生に希望すること

ゼミは誰かが話さないと始まらないので、積極的に発言してくれると嬉しいです。

## ⑧ 成績評価の方法

報告及び議論への参加状況によって評価します。

## ⑨ ゼミ生の選考方法

面接は実施しません。希望者数が多い場合は、成績等を考慮します。

## ⑩ 最後にゼミのPRをお願いいたします!

行政学や公共政策論は、政治学のなかでも、実務に近いという点で法学に似た性質があります。本や論文を読むだけでなく、広くニュースにも目を向けながら、世の中の出来事に意識を向けてほしいです。